

## 機械設計・鋼構造診断技術者として働くあなたの役割

私たちは、ある年齢を迎えると、定期的に健康診断を受けるようになります。

人間ドックが良い例で、1年に1回あらゆる検査を行い、現在の体の状態を把握して、健康の自己管理に上手に利用していきます。通常、私たちの体は年齢とともに衰えるのですから、検査の結果に基づき、病気の早期発見、早期治療へと繋がります。

さて・・・私たちの身の回りにはダムやトンネルといった構造物も私たちと同じように、日々老朽化しています。先日も、中央道でトンネルの崩落事故が発生しました。このような事故を未然に防ぐため、老朽化していく構造物に対して人間と同じように、不良箇所の早期発見、改修を行い、定期的に調査・診断を行うことが必要です。インフラ整備における維持管理の知識を十分に習得し、自分の視覚、聴覚、触覚、嗅覚を活かしながら、インフラを守っていくことが仕事です。

### - 主な対象設備 -

水圧鉄管

水力発電設備 (水圧鉄管)

ダム (鋼構造物)

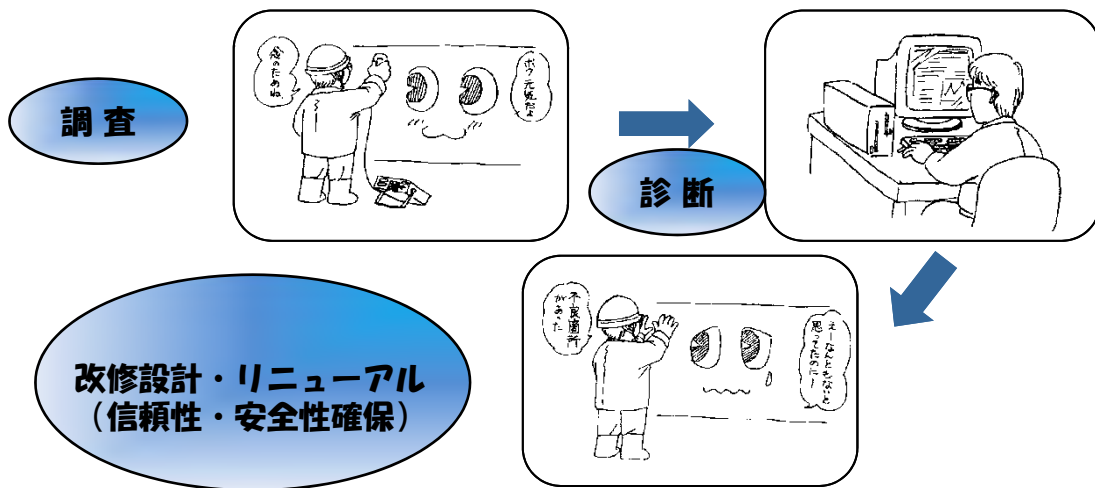
ダム洪水吐ゲート

ゲート設備

火力発電所 (海洋鋼構造物)

### お問い合わせ先

中電技術コンサルタント株式会社 河川本部 水力部 機械設計・鋼構造診断G TEL (082) 256-3355, FAX (082) 251-0486



## 業務実績

業務名	発注機関	実施年度
俣野川(発)ほか主要鋼構造物定期診断業務	中国電力株式会社	平成26年度
倉見・梶並発電所 水圧鉄管調査業務	岡山県企業局 施設課	平成26年度
神野瀬(発)高暮ダム洪水吐ゲート取替工事の実施設計業務	中国電力株式会社	平成22年度
仁多小水力発電所改築工事調査設計等業務(水圧鉄管)	島根県仁多郡奥出雲町	平成24年度

## お問い合わせ先

中電技術コンサルタント株式会社 河川本部 水力部 機械設計・鋼構造診断G TEL (082) 256-3355, FAX (082) 251-0486

### ■ 若手社員は今!

僕は入社2年目です。大学時代は土木を専攻していましたが、現在は機械設計を担当しています。機械設計といっても自動車や航空機を設計するわけではありません!!

普段あまり馴染みがないかもしれませんが生活するうえでは必要

不可欠な電気! その電気を作る「水力発電所」に係る施設(水圧鉄管・ゲート設備等)を主に設計しています。

そもそも、大学で土木専攻だった人が機械の設計をできるのかと疑問に思われるのではないのでしょうか。正直なところわからないことだらけです!! でも、わからないことは諸先輩の助けを借りながら学び、日々精進しております。

また、新たなことを学び、新たなことに携わっていくことは、難しい一方でおもしろく感じています。

まだまだ頼りないですが、一日でも早く一人前になれるよう日々努力していきたいと思っています。



毎日が勉強です。  
楽しいです!

### ■ 先輩社員より

入社して21年目を迎えた中年真っ盛りオヤジです。私のグループの仕事のうち、鋼構造物の維持管理業務に携わっています。鋼構造物の維持管理業務といってもピンと来ないかと思いますが、簡単に言うと鋼構造物の医者(人間ドック)みたいなものです。鋼構造物は動けないので、こちらから現場に向いて調査(検診)をするため、仕事には技術的な知見と少々体力が必要となります。

鋼構造物といっても社会には様々なものがありますが、我々の業務対象設備の多くは、水力発電設備になります。温室効果ガスが世界的な問題となる中、水力発電はクリーンなエネルギーとして今注目をされています。

『健全な社会は健全な社会インフラの元にあり!!』



明日の社会資本とエネルギー政策を支えるこの仕事にやりがいを感じています。